

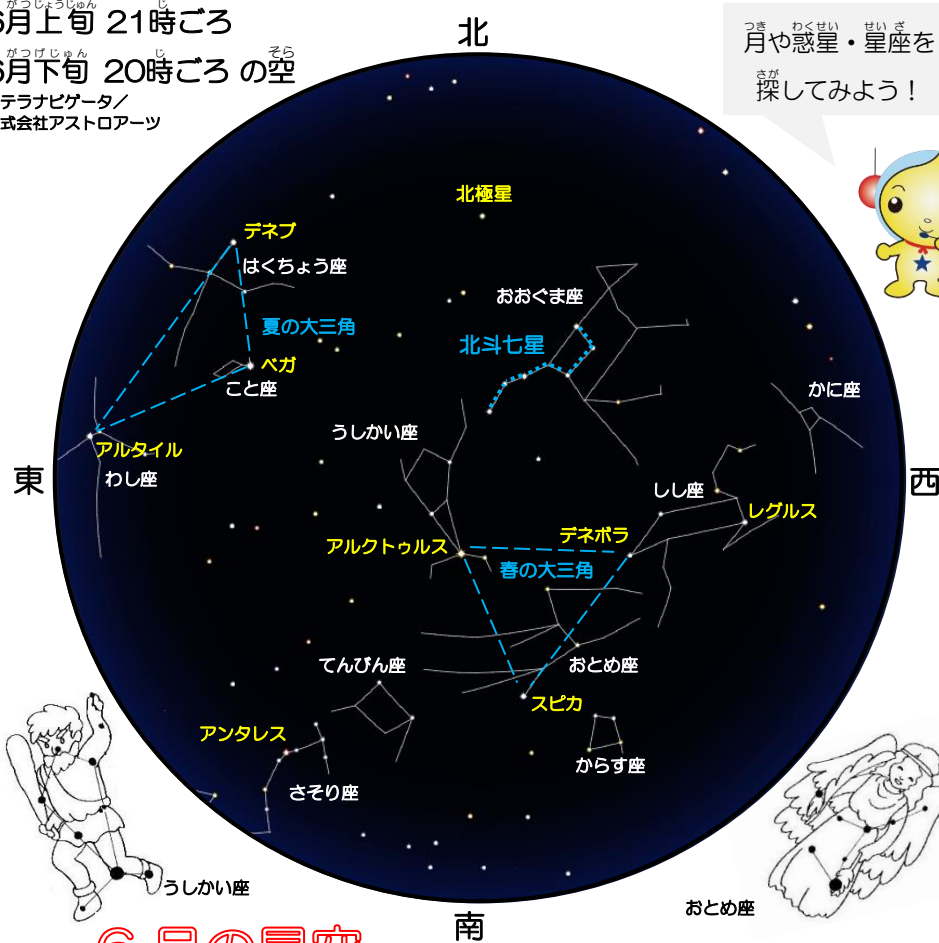
月刊 星空の散歩道 6月号

2022年

6月上旬 21時ごろ

6月下旬 20時ごろの空

ステラナビゲータ/
株式会社アストロアーツ



つきや惑星・星座を
さがしてみよう!



6月の星空

☆宵空の主な星座と明るい星☆

西の空と南の空に春の星座が、東の空に夏の星座が見えています。

- < 西 > しし座 (レグルス、デネボラ)
- < 天頂 > うしかい座 (アルクトゥルス)
- < 南 > おとめ座 (スピカ)、さそり座 (アンタレス)
- < 東 > こと座 (ベガ)、わし座 (アルタイル)、はくちょう座 (デネブ)
- < 北 > 北極星、おおぐま座

☆天文トピック☆

5月27日~6月1日
火星と木星が大接近

未明の空で、火星と木星がととも近づいて見えます。最接近は29~30日ですが、続けて観察すると、2天体の距離の変化を楽しめます。

6月21日 夏至

北半球では1年の中で最も昼の時間が長い日。(天文コラム参照)

6月中旬~下旬 月と全惑星が同じ空に

明け方、月と全惑星が同じ空に見られます。(街中では肉眼で見えるのは月・土星・木星・火星・金星です)

☆月の形の変化☆

6月7日	上弦	
6月14日	満月	
6月21日	下弦	
6月29日	新月	

☆6月の惑星☆

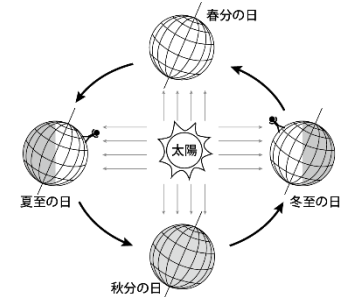
金星	明け方、東の空低く
火星	明け方、南東の空
木星	明け方、南東の空
土星	明け方、南の空

<天文コラム> 夏至と冬至

6月21日は夏至で、北半球では1年で最も昼間の時間が長くなる日です。反対に冬至(今年は12月22日)には最も昼間の時間が最も短くなります。伊丹市では、夏至と冬至の昼の長さは4時間半以上も変わります。この変化が起きる理由は、地球の自転軸が、太陽の周りを回る公転面に対して少し(23.4度)傾いているからです。傾きながら太陽の周りを回っていると、地球上から見たときの太陽の南中高度が変化していきます。太陽が高い所を通れば空を横切る時間が長くなり、夏至の頃は昼間が長くなるということです。

夏至・冬至は、「二至」と呼ばれる重要な季節の目安で、特に太陰太陽暦が使われていた中国や日本では、暦の基準となる冬至を観測で求めていました。「圭表儀」という器具で太陽の南中時の影の長さを測り、最も影が長くなる日を冬至としたのです。

現在では、天球上の天の赤道と黄道の交点である春分点からの角度が90度、270度の点を太陽が通過する日を、夏至、冬至としています。



伊丹市立こども文化科学館 発行日 2022年5月20日

〒664-0839 兵庫県伊丹市桑津3丁目1-36 TEL: (072) 784-1222

HP: <http://business4.plala.or.jp/kodomo/>

